

【議会報告会】

○(1)四日市全体の下水道整備事業の進捗状況はどの程度か。

(2) 下野地区の下水道整備事業の進捗状況と何年度までに完了する見込みなのか。

⇒議員 (1) 四日市市全体の下水道普及率について平成28年度末で76%の整備が完了しており、四日市市の行政人口約31万人の内、約21万8500人が公共下水道を利用している状況である。

(2) 下野地区の進捗状況については確認の上、後日お答えさせていただきたい。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：公共交通とインフラ整備について》

○三岐鉄道は運賃が高いため、利用しにくい。三岐鉄道の現状についてどのような認識をしているのか。

⇒議員 四日市市内の既存路線は三岐鉄道に限らず、地域の貴重な移動手段であるため、今後も存続させていきたいと考えている。

⇒議員 既存路線の存続に向けてはデマンド交通の導入により沿線駅まで乗客を誘導して乗車率を高めるなどの対策について議論が行われている。

○以前と比較してバスの本数と利用客は減る反面、ルートが、団地内を回るようになり乗車時間は増えて運賃も上がるなど、利用しにくくなっている。また、近隣の医療機関を受診する際にタクシーを利用したいが、距離が近すぎるため、配車を拒否されることもある。これらの状況についてどのように考えるか。

⇒議員 あさけが丘団地が開発された時代とは状況は大きく変化しており、バス利用者の減少に伴い、乗車時間と運賃は増えるという悪循環に陥っている。今後、デマンド交通などが対応策として考えられるが、その推進を考えた場合、地域にもタクシー会社の拠点が必要になってくると感じている。

○少子高齢化社会において公共交通と行政の関わり方についてどのように考えているか。

⇒議員 限られた財源の中で高齢者の移動手段をどのように確保していくのかについては、大きな課題として捉えている。従来のような非効率的なバス路線ではなく、低コストで状況に応じた柔軟な対応ができる乗合いタクシーの活用などが問題解決に向け有効であると考えている。

○東員町にイオンモールが出店したことに伴い、山城駅から直通バスが運行しているが、停留所がないため、駅までの交通手段がない地元の高齢者は非常に利用しにくい状況にある。バスを運営している三岐鉄道に対して地区内に停留所を設置するように市から働きかけはできないのか。また、高齢者が免許を返上しても住み慣れた地域で生活できるようにコミュニティバスの運行について検討してほしい。

⇒議員 既存の自主運行バスを有効に活用できる方法について議論していきたい。

⇒議員 住民の利便性向上を図るため、東員のイオンモール行きのシャトルバスの運行ルートについて下野地区に停留所を設置できないか市を通じて三岐鉄道に意見を伝えたい。

○自主運行バスについて利用者が少ない反面、市から多額の運営費が出されているが、運営をNPOに委ねるなど、今後のあり方について見直しが必要ではないか。

⇒議員 自主運行バスについては、利用者からの運賃のみでは採算が取れないため、市が赤字を補填することにより運行している。今後、デマンド交通の導入など、現在よりも低コストで効率的な公共交通のあり方について議論していきたい。

○以前に北海道で道路と線路を両方走行可能なデュアル・モード・ビークルという車両の導入が検討されていたが、四日市市でも三岐鉄道の線路を活用して試行的に導入できないのか。

⇒議員 ご意見として承る。

○生活バス四日市の協賛金はどこから支出されているのか。

⇒議員 生活バス四日市が停留する地元のスーパーマーケット等の企業から協賛金を得て運営費の一部に充てられている。

《その他》

○住宅の新築を目的に土地を取得したものの、幅員4m未満のため、狭あい道路後退用地整備（セットバック）をしなければならない。四日市市に狭あい道路後退用地整備の相談後、約2年が経過しているため、進捗状況を確認したい。

⇒議員 狭あい道路後退用地整備（セットバック）については、幅員4m未満の市道に隣接する土地の所有者が新築等の建築行為を行う際に原則として、道路の中心からそれぞれ2m後退した線を道路の境界線とみなして整備する構想で協力をお願いしているものである。市が協力をお願いしているにも関わらず、整備が進まないということであれば、委員会において実態を確認するなどの対応を考えたい。

○朝明新川が台風や局地的な集中豪雨により、河川の許容量を上回る状況が頻繁に発生しており、周辺道路や田畑が冠水するといった事例もあるため、越水の原因となっている箇所について早期に河川改修事業を完了させて欲しい。

⇒議員 朝明新川の状況については、一般質問でも取り上げられる等、議員全員が問題を共有しており、早期に河川改修事業を完了させて欲しいという意見があったことを改めて担当部局に伝えたい。

○ 新名神高速道路建設に伴う周辺環境の変化として下野地区でイノシシの数が増加している。地域住民で対策も講じているが、市としても有害鳥獣対策にしっかり取り組んで欲しい。

⇒議員 ご意見として承る。